

担当課	主:生涯スポーツ課	生涯スポーツ課	21,302,000			
		合計	21,302,000			
単位:円						
A	No.	交付金事業の名称		総事業費	うち国費 (交付金補助)	うち市費
	2	雪国で共に創るスポーツを通じた健康増進プロジェクト		21,302,000	10,651,000	10,651,000
	単独事業と広域事業の別	単独	事業実施計画(申請)段階テーマ	地方への人の流れ	事業タイプ	横展開
B	事業概要(目的)					
	すべての市民が生涯にわたって自分らしくいきいきと活躍できるまちの実現に向け、スポーツ・健康づくりの分野からまちづくりを進める。自転車を活用した健康なまちづくりとともに脱炭素社会の実現、交通分散率の向上といった環境面へ配慮した地域社会の実現を目指した取組、雪国の長年の課題「除雪作業」をスポーツの視点から検証・分析し、民間企業との共同研究によって除雪作業の運動量をデジタルに可視化して、スマートフォンで測定できるアプリケーションプログラムを開発することを契機とした地域イノベーションの創出に向けた取組、市民が日常的に身近に健康づくりと関われる環境整備を進めるため、幅広い世代からの情報収集と分析を行い、市民ニーズに合ったスポーツ、アクティビティ、健康づくり講話などの教室の拡充、イベントの提供を行う取組などを実施。このようなスポーツ・健康づくりの事業を、産官学連携や地域間連携など新たな視点から再検証し、市民が生涯にわたって自分らしくいきいきと活躍できるまちの実現を目指す。					
C	本事業における重要業績評価指標 (KPI)		目 標 値			
		事業開始前 (基準年:R1)	令和3年度増加分 (1年目)	令和4年度増加分 (2年目)	令和5年度増加分 (3年目)	(KPI増加分の累計)
	南魚沼市健康ポイントの目標達成者数	120人	80人	100人	100人	280人
	自転車関連イベントの参加者数	1,370人	1,212人	200人	200人	1,612人
	総合型地域スポーツクラブへの市外からの参加者数	468人	20人	20人	20人	60人
	市民の幅広い世代が多様なスポーツで健やかなくらしを実現するプロジェクトの延参加者数	10,709人	1,000人	3,000人	5,000人	9,000人
D	本事業における重要業績評価指標 (KPI)		実 績 値			
	南魚沼市健康ポイントの目標達成者数		39人			39人
	自転車関連イベントの参加者数		△500人			△500人
	総合型地域スポーツクラブへの市外からの参加者数		△102人			△102人
	市民の幅広い世代が多様なスポーツで健やかなくらしを実現するプロジェクトの延参加者数		△4,261人			△4,261人
E	交付金充当事業の内容及び事業実績額 (補助率1/2) (単位:円)					
E-1	1 自転車を活用した健康なまちづくりを市民とともに創り出すプロジェクト					
	【事業の概要】 市民のサイクルスポーツの振興を目指し、電動アシスト自転車のレンタサイクルサービスやモニターツアーを実施するとともに、新潟県との連携事業により動画を作成し、SNS等で魅力や情報を発信。 ①市民や地元企業向け電動アシスト自転車レンタサイクルサービスを実施。:2,750千円 ・市民向け:7/23~11/14、市内2か所を窓口に実施。(利用者12人) ・企業向け:10月中旬から1月間貸出、市内事業者4社(延べ利用者 数56人)で業務内や通勤で利用。 ②ガイド付き試乗体験会を3日間実施。(7/17、7/23、10/3 参加者22名):204千円 ③魚沼地域(南魚沼市、魚沼市、湯沢町)の自転車ブランドの構築と魅力発信のため、県との連携事業により動画制作、プロモーションの実施。:1,029千円 ・インフルエンサーによるYouTube動画4本、サイクリングプロモーション動画(春、夏、秋、ファミリー、総集編 計5本) ・南魚沼市スポーツ&アクティビティ情報総合サイト内にサイクリングページを追加し、動画を発信					3,982,500
E-2	2 雪国の長年の課題「除雪作業」を健康づくりの分野から地域の活力へ転換するプロジェクト					
	【事業の概要】 除雪作業をスポーツのひとつとしてポジティブ化したイメージチェンジを図り、冬場の健康づくりのための運動不足解消ツールとして定着を目指す。 ①除雪作業といった雪を活用した健康づくりのプロモーションのため、ロゴ「YUKISIL」、等身大パネル、動画(除雪×エクササイズ)を作成。:22千円 ②除雪作業等日々の作業の可視化を取り入れた健康づくりを促進するため健康ポイントのアプリ機能の開発準備を行う。:2,699千円 ③冬期間の運動不足とコロナ禍における新たな健康づくりの機会を創出するため、スポーツクラブ動画をオンラインで配信。:2,166千円 ・ヨガ(視聴回数717回)、筋トレ(視聴回数487回)、体幹(視聴回数221回)					4,886,500
E-3	3 市民の健康無関心層への効果的な健康づくり推進プロジェクト					
	【事業の概要】 ①健康ポイント事業の参加促進ポスターを作成し、市内コンビニエンスストア等25か所PRを実施。:33千円 ②新型コロナウイルスの影響により体力測定会は中止。 ③代替事業として、PRのため自転車による南魚沼市の取組を自転車雑誌「バイシクル・シティ」に掲載し、体育施設や自転車ラック設置施設等市内30か所に配置。:302千円					335,000
E-4	4 市内のフラッグシップのスポーツ施設を活用した市民のスポーツ普及プロジェクト					
	【事業の概要】 ①スポーツ競技者・団体を招聘してスポーツ教室を開催。:2,720千円 ・ソフトテニス教室(8/21 講師:ヨネックスソフトテニス部 会場:大原運動公園 参加者数58名) ・ベースボールキャンプ(8/16、8/28、10/1、10/22、11/23 全5回 講師:新潟アルビレックスBC 会場:大原運動公園 上田小学校体育館、中之島小学校体育館 参加者数250人) ・スキー陸トレ(10/24、10/31、11/7 全3回 講師:小野塚彩那 会場:南魚沼市トレーニングセンター 参加者数56人) ②スマートフォンアプリを活用したオンラインウォーキング大会の開催。:858千円 10/3にはFMゆきくに内で特別番組「音楽と歩こう」を放送し、音楽とスポーツのコラボイベントを実施。(9/24~10/3 10日間開催、参加者数35人)					3,578,000
E-5	5 市民の幅広い世代が多様なスポーツで健やかなくらしを実現するプロジェクト					
	【事業の概要】 幅広い世代の市民を対象に、多様なスポーツに参加する機会を創出するため、スポーツ教室やイベントを開催。:8,520千円 ・4月~11月 19事業 延べ実施回数612回、延べ参加者数5,811人 ・12月~3月 3事業 延べ実施回数73回、延べ参加者数637人					8,520,000

■実施事業及びKPI実績についての評価	
F 事業実績についての評価 ※右欄から選択	② ①計画どおりに実施し、十分な成果が得られた ②おおむね計画どおりに実施したが、期待される成果には達しなかった ③計画どおりに実施できず、ほとんど成果が得られなかった
G 上記評価結果に対する特記事項 ※任意記載 (事業の成果や課題について特筆すべきことがあれば記載)	新型コロナウイルスの影響により、自転車イベントは中止となったが、園児を対象としたストライダー教室及びサイクリングガイド付きツアーを開催し、参加者数は目標値に達しなかったものの、事業の実施方法や定員数の見直しを行いながら、サイクルスポーツの推進や多様なスポーツ教室を開催することができた。また、除雪作業といった雪を活用した健康づくりの情報発信や健康ポイント事業を実施することで、スポーツを通じた健康増進の機運を醸成することができた。
H 事業の修正・改善点 (令和3年度の事業実績や成果を踏まえて、PDCAによる事業改善の観点からの修正・改善点)	スポーツや健康増進に関心の薄い市民へのPR手法等は、引き続き検討を行う必要がある。
I KPIの目標達成状況 ※右欄から選択	③ ①すべてのKPIで達成 ②一部のKPIで未達成 ③すべてのKPIで未達成 ④すべてのKPIで未達成かつ事業開始前より悪化した指標がある
J 目標未達成だった場合は、その理由 ※上記で①以外を選択した場合に記載	新型コロナウイルスの影響により、市民向けサイクルイベントは中止、他のイベントやスポーツ教室も定員数の見直しや参加自粛ムードも見られたことから参加者数が減少し、すべてのKPIで未達成となった。
■交付金事業の地方創生への効果	
K 事業効果 ※下記から選択	③ KPIに対する実績値(目標に対する達成状況)を踏まえて、地方創生に対する事業効果を4段階で評価する
L 交付金事業実施の総括 (令和3年度の事業実績や効果を踏まえて、今後の取組にどのようにつなげていくかなどを記載)	①地方創生に非常に効果的であった(すべてのKPIが目標値を達成するなど大いに成果が得られた) ②地方創生に相当程度効果があった(一部のKPIが目標値に達しなかったものの、おおむね成果が得られたとみなせる) ③地方創生に効果があった(KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる) ④地方創生に効果がなかった(KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言えない)
M 「K 事業効果」、「L 交付金事業実施の総括」に対する外部有識者からの意見	新型コロナウイルスの影響により、自転車イベントは中止となったが、園児を対象としたストライダー教室及びサイクリングガイド付きツアーを開催し、参加者数は目標値に達しなかったが、サイクルスポーツの推進や多様なスポーツ教室の開催により、スポーツニーズを掘り起こすことができた。また、除雪作業といった雪を活用した健康づくりや健康ポイント事業に取り組むことで、健康づくりのためにスポーツを楽しむ習慣化への誘導はできたが、スポーツや健康増進に関心の薄い市民への働きかけ方法には課題が残っている。今後は幅広い世代からの参加者を掘り起こすため、これまでの取組を検証しながら、さらに効果的なスポーツ・健康づくりの事業を継続していく。

【2】地方創生推進交付金事業のまち・ひと・しごと創生総合戦略における位置づけと事業評価シート

【戦略プロジェクトⅡ】移住定住・ひとの流れをつくるプロジェクト		まち・ひと・しごと総合戦略における位置づけ (その1)				
【基本プロジェクトⅡ-2】交流人口・関係人口の創出・拡大						
【施策】国内外の交流を推進する						
指標No.	重要業績評価指標(KPI)	基準値 (基準年)	R6目標値	実績値		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
Ⅱ-2①-1	「総合型地域スポーツクラブ」への市外からの参加者数	468人	568人	366人		
KPIの目標達成状況 ※右欄から選択		④	①KPIを達成 ②KPIは未達成だが目標値に向かって順調に推移 ③KPIは未達成で目標達成は難しい状況 ④KPIは未達成で数値が悪化している			
目標未達成だった場合は、その理由 ※上記で①以外を選択した場合に記載		新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、事業の中止や変更、申し込み後の取り消しなどのリスクが増大していることから、申込に対し慎重となっていると考えられる。				
KPI実績と交付金事業の関連性 (交付金事業の実施によりKPIの目標達成にどのような効果や影響があったか、事業実施前後で改善・前進した取組などを記載)		新型コロナウイルスの感染拡大により市外からの参加者数は未達成となったものの、幅広い世代の市民を対象とした多様なスポーツイベントや教室を開催することで総合型地域スポーツクラブを充実させることができた。				

【戦略プロジェクトⅡ】移住定住・ひとの流れをつくるプロジェクト		まち・ひと・しごと総合戦略における位置づけ (その2)				
【基本プロジェクトⅡ-3】地域資源を活用した質の高い観光交流の推進						
【施策】自然環境や地域特性を生かしたスポーツ・ツーリズムを推進する						
指標No.	重要業績評価指標(KPI)	基準値 (基準年)	R6目標値	実績値		
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
Ⅱ-3③	自転車関連イベントの参加者数	1,370人	3,400人	870人		
KPIの目標達成状況 ※右欄から選択		④	①KPIを達成 ②KPIは未達成だが目標値に向かって順調に推移 ③KPIは未達成で目標達成は難しい状況 ④KPIは未達成で数値が悪化している			
目標未達成だった場合は、その理由 ※上記で①以外を選択した場合に記載		新型コロナウイルスの影響により、自転車イベントが中止となったため未達成。				
KPI実績と交付金事業の関連性 (交付金事業の実施によりKPIの目標達成にどのような効果や影響があったか、事業実施前後で改善・前進した取組などを記載)		自転車関連イベントは中止となったものの、電動アシスト自転車のレンタサイクルサービスやモニターツアーなどを実施し、自転車というスポーツ資源を地域資源として活用する環境づくりを進めることができた。また、新潟県や魚沼地域定住自立圏の自治体と連携しながら、サイクルスポーツの魅力や地域特性を生かしたスポーツ・ツーリズムのプロモーションを実施することでサイクルスポーツを身近に感じられる機会を設けることができた。				

■【1】及び【2】の評価結果を踏まえた本事業の効果の検証

総合戦略のKPI達成に対する交付金事業の有効性 ※下記から選択	③	地方創生推進交付金を活用して実施した事業(交付金事業)が、総合戦略の推進(KPIの目標達成)に有効であったかについて、【1】【2】の実績や評価結果を踏まえて、4段階で評価する
←本会会議での評価結果		
①非常に有効であった(すべてのKPIが目標値を達成するなど大いに成果が得られた) ②相当程度有効であった(一部のKPIが目標値に達しなかったものの、おおむね成果が得られたとみなせる) ③有効であった(KPIの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる) ④有効ではなかった(KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言えない)		
外部有識者からの意見 (上記「本会会議での評価結果」についての妥当性)		